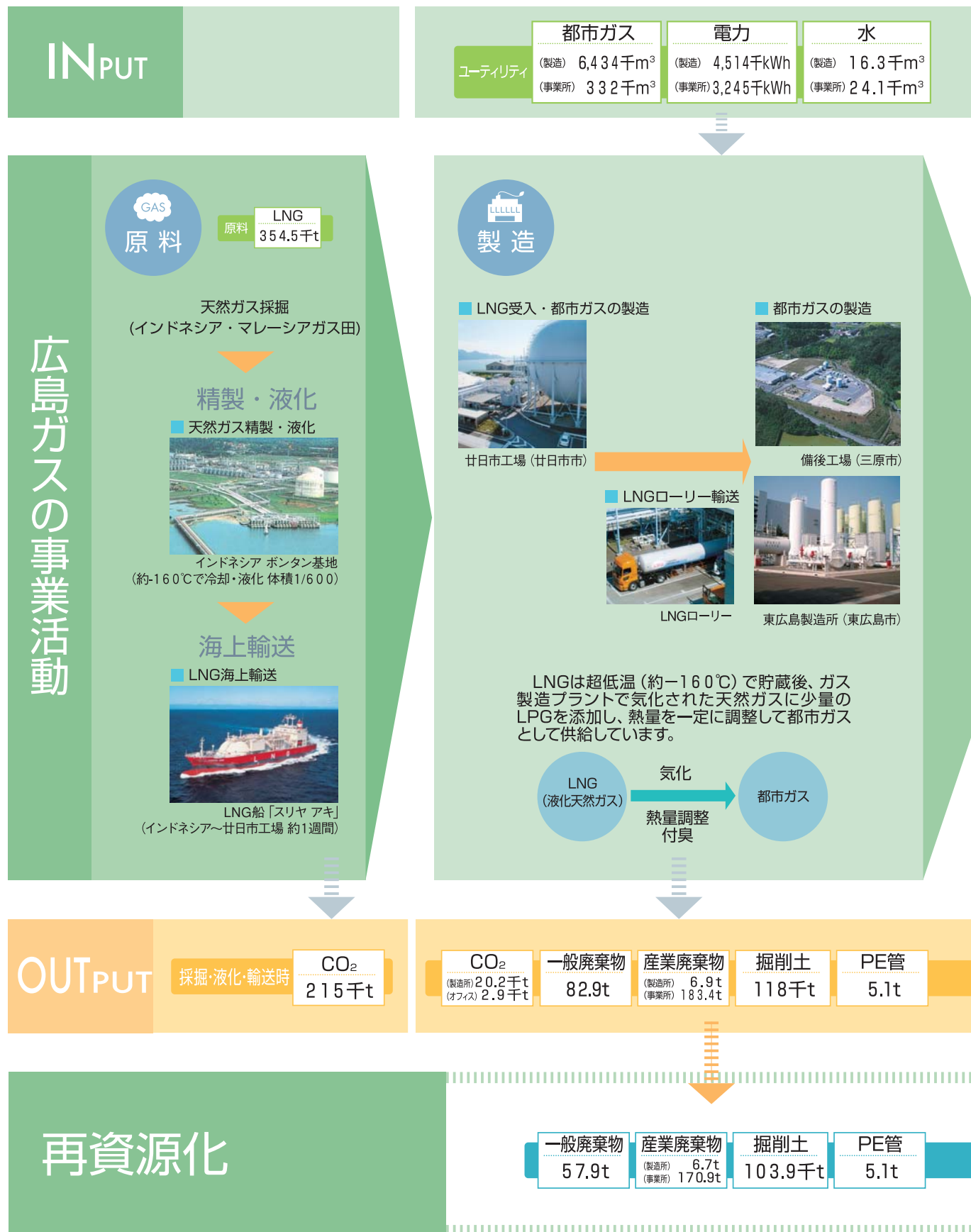


事業活動における環境負荷（2008年度実績）

2008年度の広島ガスの事業活動における主な環境負荷についてまとめました。



都市ガスを製造・供給するために、主原料としてLNGおよび熱量調整用のLPG、ユーティリティとして都市ガス・電力・水など、ガス導管としてPE管、鋼管などを使用しています。

エネルギーの使用によりCO₂が発生しますが、クリーンエネルギー天然ガスの優れた特長を活かし、他燃料から天然ガスへの転換、ガスコージェネレーションシステムおよび高効率ガス機器の普及等を推進することで、環境保全に貢献しています。



導管（パイプライン） 総延長4,825km

■ 都市ガスの貯蔵



ガスホルダー

■ 導管工事



導管埋設工事

■ 圧力等遠隔監視制御



中央監視制御室（本社）

■ 都市ガスの供給



ガス管橋



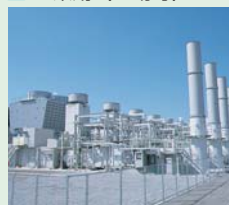
ガス販売量 4億7千7百万立方メートル

■ 商業用・公用（ホテル・ビル・学校等）



厨房、給湯、空調等

■ 工業用（工場等）



コージェネレーションシステム、
加熱、空調等

■ 家庭用（給湯・空調等）



厨房、給湯、空調等

■ 天然ガス自動車



トラック・バス・乗用車等

鋳鉄管・鋼管

146.1t

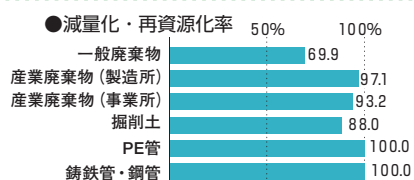
お客さま先

CO₂

1,127千t

鋳鉄管・鋼管

146.1t



環境保全活動におけるお取引先との関係

廿日市工場・備後工場・東広島製造所においては、LNG船、LNGローリー等の役務提供者および購買先に対して、環境保全活動（サプライチェーン・マネジメント等）への協力を依頼しています。

- 環境保全に関する覚書
- 安全環境教育
- 協力依頼カード